



MFC 4000
Music Production Center

Version 1.50 追補版

AKAI
professional

使用説明書

ご使用になる前に、必ずこの
使用説明書をよくお読み下さい。



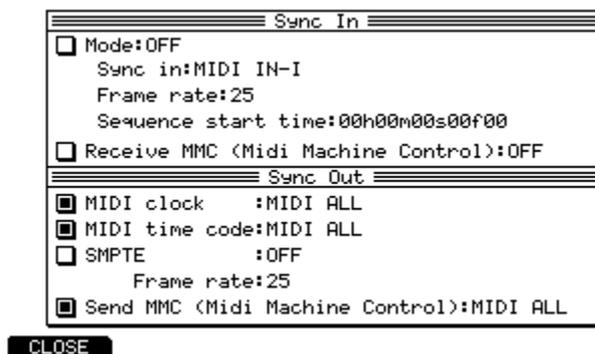
目次

MAIN モード / SONG モード	
Sync Out ウィンドウに MIDI ALL を追加	1
Sync In/Out の設定を SRAM に記憶	1
Flash Memory / SRAM / Multi / ALL に記憶されるパラメータについて	1
MISC.モード	
Reset Qlink and controllers on seq change フィールドを追加	2
Sequence edit event monitor フィールドを追加	2
GLOBAL モード	
Operation フィールドを追加	3
Function フィールドに PLAY START / STOP と PLAY / STOP を追加	3
MIXER モード	
PART MIXER ページの変更	4
PAD MIXER ページの追加	5
パートミキサー / パッドミキサーの操作をシーケンスに記録する	6
パートミキサーイベントの編集	6
パッドミキサーイベントの編集	7
RECORD モード	
Record start フィールドに MIDI を追加	8
16 LEVELS キー	
16 LEVELS に TUNING を追加	8
T (チューン) フィールドの追加	9

Sync Out ウィンドウに MIDI ALL を追加

MIDI OUT A～D から同時に同期信号を送信できるようになりました。

MAIN モード/SONG モードに表示される Sync Out ウィンドウの MIDI clock フィールド、MIDI time code フィールド、Send MMC フィールドの選択肢で MIDI ALL を選択することができます。MIDI ALL を選択すると、MIDI OUT A/B/C/D の全てに選択した同期信号が送信されます。



Sync In/Out の設定を SRAM に記憶

MAIN モード/SONG モードの Sync In/Out の設定を SRAM に記憶するようになりました。記憶されるパラメータは Sync In ウィンドウの Mode、Sync in、Frame rate、Receive MMC と Sync Out ウィンドウの MIDI clock、MIDI time code、SMPTE、Frame rate、Send MMC フィールドです。電源を落としても SRAM に記憶された設定は維持されていますので、起動する度に Sync In/Out の設定を行なう必要がなくなりました。

: Sequence start time フィールドの設定は SRAM には記憶されずにシーケンス/ソングに記憶されます。

Flash Memory/SRAM/Multi/ALL に記憶されるパラメータについて

Flash Memory に記憶されるパラメータは MPC4000 の電源を落としても消えません。SRAM に記憶されるパラメータは電源を落とすとバックアップバッテリーで記憶されますが、バックアップバッテリー交換時には消えます。Multi ファイル/All Sequences & Songs ファイルに記憶されるパラメータは電源を落とすと消えますが、Multi ファイル/All Sequences & Songs ファイルをロードするとパラメータがロードされます。

Flash Memory

- Phrase Library

SRAM

- GLOBAL (GLOBAL page, CONFIG. page, FOOT SW page)
- MISC. (SETUP page)
- Sync In/Out (Sync, Mode, Sync in, Frame rate, Receive MMC, MIDI clock, MIDI time code, SMPTE, Frame rate, Send MMC)

Multi ファイル

- Q-Link setups • FX settings

All Sequences & Songs ファイル

- Sequence Default • Timing Correct (TC, Swing, Shift timing, Shift amount)
- Metronome (Metronome, Count in, Rate, In play, In rec, Wait for key)
- Default Tempo • Tempo SEQ/MASTER mode
- Simul play (Simul play, SEQ/SONG, Sequence/Song number)
- Auto Punch In/Out (A.Punch, Type) • Track Mute Event (Use track mute events)
- STEP EDIT (Midi ch, Duration of recorded notes, Auto step increment on key release)
- Assign locate keys

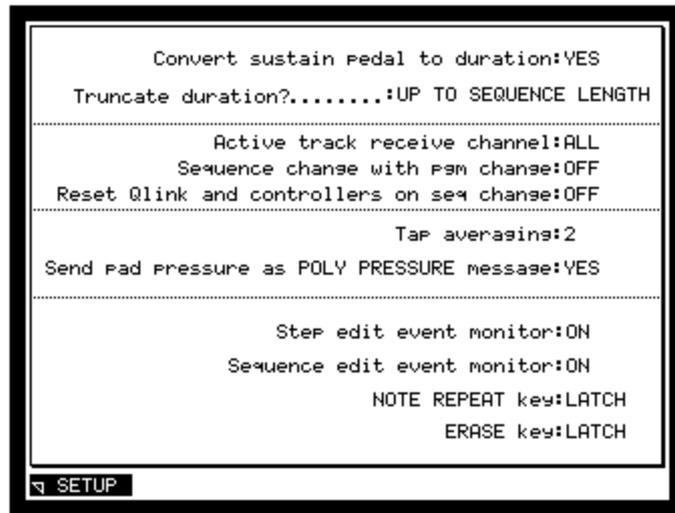
Reset Qlink and controllers on seq change フィールドを追加

シーケンスを切り替えた時に、直前のシーケンスのイベント（Q イベント、PAD CONTROL、MIDI コントローラー）の値をリセットするかどうかを選択できるようになりました。

MISC.モードの [F1]SETUP ページに Reset Qlink and controllers on seq change フィールドが追加され、ON/OFF を選択することができます。

Reset Qlink and controllers on seq change フィールドを ON に設定してシーケンスを切り替えると、直前に再生していたシーケンスのイベントの値はリセットされます。

Reset Qlink and controllers on seq change フィールドを OFF に設定してシーケンスを切り替えると、直前に再生していたシーケンスのイベントの値をキープします。ライブなどでリアルタイムに変更したパラメータを、次のシーケンスでも維持したい場合には OFF に設定して下さい。

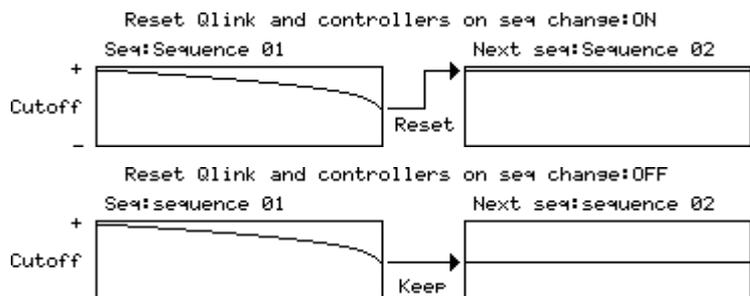


Reset Qlink and controllers on seq change フィールド

ON —— シーケンスを切り替えた時にイベントの値をリセットします。

OFF —— シーケンスを切り替えた時もイベントの値をキープします。

例：Q-Link に CUTOFF をアサインして、Sequence 01 のカットオフを 50 に下げた状態で Sequence 02 に切り替えた場合、ON に設定されていると Sequence 02 のカットオフは 100 にリセットされますが、OFF に設定されていると Sequence 02 のカットオフは 50 のままキープされます。



Sequence edit event monitor フィールドを追加

SEQ EDIT モードのグラフィックエディターブロックで選択した MIDI イベントを再生するかどうか設定できるようになりました。

MISC.モードの [F1]SETUP ページに Sequence edit event monitor フィールドが追加され、ON/OFF を設定することができます。

Sequence edit event monitor フィールド

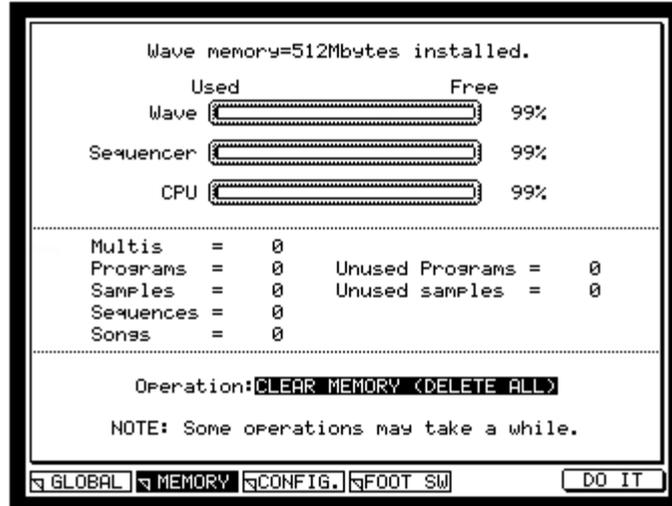
ON —— SEQ EDIT モードで [CURSOR] キーや [JOG] ダイアルで選択した MIDI イベントを再生します。

OFF —— SEQ EDIT モードで [CURSOR] キーや [JOG] ダイアルで選択した MIDI イベントを再生しません。

Operation フィールドを追加

メモリ内の全てのデータを一括して削除したり、使用していないプログラム/サンプルだけを削除することができるようになりました。

GLOBAL モードの [F2]MEMORY ページに Operation フィールドが追加され、DEFRAGMENT、CLEAR MEMORY (DELETE ALL)、PURGE UNUSED PROGRAMS、PURGE UNUSED SAMPLES を選択することができます



Operation フィールド

- DEFRAGMENT ————— メモリ内のファイルの断片化を解消して空きメモリを確保します。
- CLEAR MEMORY ————— メモリ内のファイル (マルチ/プログラム/サンプル/シーケンス/ソング) を全て削除します。
- PURGE UNUSED PROGRAMS ——— 使用されていない (マルチに割り当てられていない) プログラムを削除して空きメモリを増やします。
- PURGE UNUSED SAMPLE ————— 使用されていない (プログラムに割り当てられていない) サンプルを削除して空きメモリを増やします。

併せて Unused Programs フィールドと Unused Samples フィールドが追加され、使用されていないプログラム数とサンプル数が表示されるようになりました。

MEMORY ページへ移動した時に Unused Program と Unused Samples の計算が行われますので、メモリ内に多量のファイルがあると MEMORY ページを表示するまでに時間がかかる場合があります。

Function フィールドに PLAY START/STOP と PLAY/STOP を追加

1つのフットスイッチで PLAY START/STOP と PLAY/STOP を行なえるようになりました。

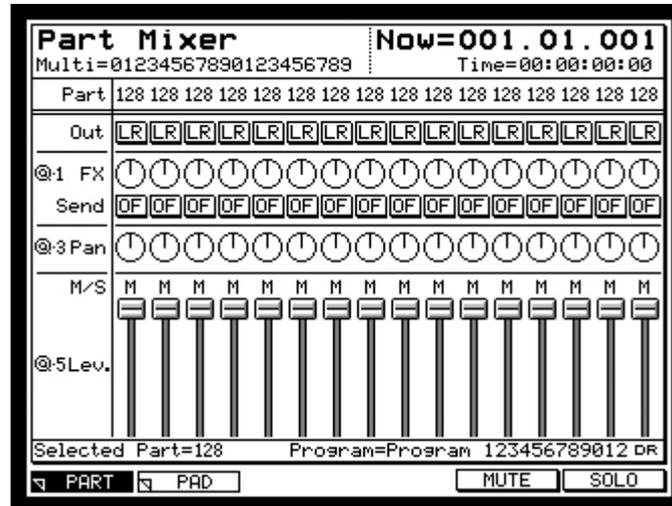
GLOBAL モード/[F4]FOOT SW ページの Function フィールドで PLAY START/STOP と PLAY/STOP を選択することができます。

- PLAY START/STOP ——— 停止時はシーケンスのスタートポイントから再生を開始し、再生中はシーケンスの再生を停止します。
- PLAY/STOP ————— 停止時はシーケンスの現在位置から再生を開始し、再生中はシーケンスの再生を停止します。

PART MIXER ページの変更

PART MIXER ページでパートの出力先/エフェクトパスを変更したり、パートのソロ/ミュートができるようになりました。

MIXER モードの [F1]PART ページに Multi フィールド、Now フィールド、Time フィールド、Out フィールド、Send フィールド、[F5] キー(MUTE)、[F6] キー(SOLO) が追加されています。

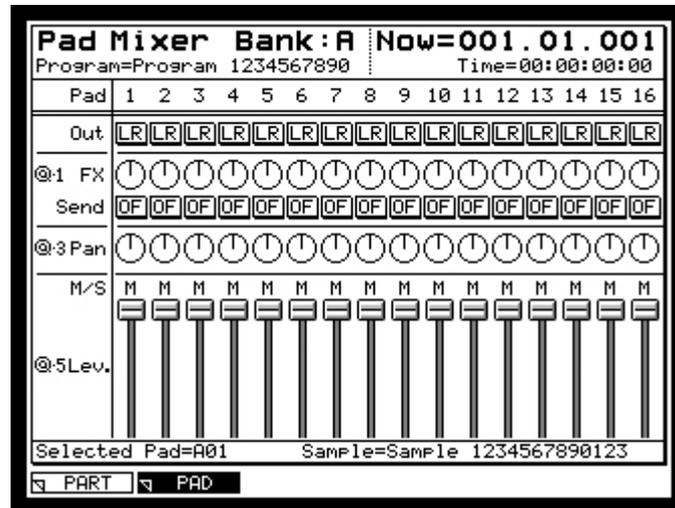


- Multi フィールド ————— MULTI モードで選択されているマルチ名が表示されます。
- Now フィールド ————— シーケンスの現在位置が小節/拍/チック単位で表示されます。
- Time フィールド ————— シーケンスの現在位置が時間表示されます。
- Part フィールド ————— このフィールドにカーソルを合わせ、[JOG] ダイアルか [CURSOR] キーで操作するパートを選択します。
- Out フィールド ————— パートから出力された信号を送る端子を次の中から選択します。
- L/R : [MAIN OUT] 端子から出力します。
 - 1/2 ~ 7/8 : インディビデュアルアウトプットからステレオで出力します。
 - L : [MAIN OUT L] 端子から出力します。
 - R : [MAIN OUT R] 端子から出力します。
 - 1 ~ 8 : インディビデュアルアウトプット 1 ~ 8 から出力します。
- FX フィールド ————— [Q1] ノブを回すと、選択しているパートのエフェクトセンドレベルを調整できます。
- Send フィールド ————— パートから出力された信号を送るエフェクトパスを次の中から選択します。
- OFF : エフェクトバスへ信号を送りません。
 - A ~ D : エフェクトバス A ~ D に信号を送ります。
 - AB, CD : エフェクトバス AB、または CD に信号を送ります。
- Pan フィールド ————— [Q3] ノブを回すと、選択しているパートのパンを調整できます。
- Level フィールド ————— [Q5] スライダーを操作すると、選択しているパートの音量を調整できます。
- M/S フィールド ————— [F5] キー(MUTE) でパートをミュートすると M マークが、[F6] キー(SOLO) でパートをソロにすると S マークが表示されます。
- Selected Part フィールド — 選択しているパート番号と割り当てられているプログラム名が表示されます。
- ヒント : Out、FX、Send、Pan、Level フィールドは MULTI モードの [F2]MIX ページと共通のパラメータで、[F1]PART ページを変更すると MULTI モードの [F2]MIX ページも同時に変更されます。
- [F5] キー(MUTE) ———— 選択しているパートをミュートします。
- [F6] キー(SOLO) ———— 選択しているパートをソロにします。1つのパートでミュートとソロを同時にオンにした時はソロが優先されず。

PAD MIXER ページの追加

MIXER モードに [F2]PAD ページが追加され、パッドごとに出力先/エフェクトセンドバス/エフェクトセンドレベル/パン/レベルを調整できるようになりました。

注意：PAD MIXER はドラムプログラム専用です。PAD MIXER を使うには MAIN モードの Out フィールドで PART が選択され、Part フィールドでドラムプログラムが選択されている必要があります。



- Pad Bank フィールド ———— 選択しているパッドバンクが表示されます。Pad Bank フィールドにカーソルを合わせて [JOG] ダイアルを回すか、[PAD BANK] キーを押してパッドバンクを切り替えることができます。
- Program フィールド ———— MAIN モードの Out フィールドで選択されているプログラム名が表示されます。
- Now フィールド ———— シーケンスの現在位置が小節/拍/チック単位で表示されます。
- Time フィールド ———— シーケンスの現在位置が時間表示されます。
- Pad フィールド ———— パッドを叩くと叩いたパッドを選択することができます。このフィールドにカーソルを合わせ、[JOG] ダイアルか [CURSOR] キーで操作するパッドナンバーを選択することもできます。
- Out フィールド ———— パッドに割り当てたサンプルの出力先を次の中から選択します。
 MULTI : マルチで選択した端子から出力します。
 L/R : [MAIN OUT] 端子から出力します。
 1/2 ~ 7/8 : インディビデュアルアウトプットからステレオで出力します。
 L : [MAIN OUT L] 端子から出力します。
 R : [MAIN OUT R] 端子から出力します。
 1 ~ 8 : インディビデュアルアウトプット 1 ~ 8 から出力します。
- FX フィールド ———— [Q1] ノブを回すと、選択しているパッドのエフェクトセンドレベルを調整できます。
- Send フィールド ———— パッドに割り当てたサンプルを送るエフェクトバスを次の中から選択します。
 MULTI : マルチで選択したエフェクトバスに準じます。
 OFF : エフェクトバスへ信号を送りません。
 A ~ D : エフェクトバス A ~ D に信号を送ります。
 AB, CD : エフェクトバス AB、または CD に信号を送ります。
- Pan フィールド ———— [Q3] ノブを回すと、選択しているパッドのパンを調整できます。
- Level フィールド ———— [Q5] スライダーを操作すると、選択しているパッドの音量を調整できます。
- Selected Pad フィールド ———— 選択しているパッド番号と割り当てられているサンプル名が表示されます。

ヒント：Out、FX、Send、Pan、Level フィールドは PROGRAM モードの [F2]KG MIX ページと共通のパラメータで、PAD ページを変更すると PROGRAM モードの [F2]KG MIX ページも同時に変更されます。

パートミキサー/パッドミキサーの操作をシーケンスに記録する

[F1]PART ページ/[F2]PAD ページでのミキサー操作をシーケンスに記録することができるようになりました。録音中に [Q1] ノブ/[Q3] ノブ/[Q5] スライダーを動かすことでシーケンスにパートミキサーイベント/パッドミキサーイベントを記録して、再生時にミキサーの操作を再現することができます。記録されたイベントは STEP EDIT モード/SEQ EDIT モードで編集することもできます。

ここではパッドミキサーイベントをシーケンスに録音する場合を例に説明します。

1. ドラムプログラムが割り当てられたマルチとシーケンスを作成もしくはロードして下さい。
2. MAIN モードの Out1 フィールドで PART を選択し、Part フィールドでドラムプログラムを選択して下さい。
3. MIXER モードの [F2]PAD ページへ移動して、編集したいパッドを叩いて選択して下さい。
4. [OVER DUB] キーを押しながら [PLAY START] キーを押してオーバーダブを開始して下さい。
5. [Q1] ノブ/[Q3] ノブ/[Q5] スライダーを動かしてエフェクトセンドレベル/パン/音量を調整して下さい。
6. [STOP] キーを押してオーバーダブを終了し、[PLAY START] キーを押してシーケンスを再生すると手順 5 で録音したパッドミキサーの操作が再現されます。

: [F2]PAD ページの Send フィールドが MULTI に設定されていると、[Q1] ノブでエフェクトセンドレベルを調整することができません。個々のパッドごとにエフェクトセンドレベルを調整したい場合には、Send フィールドで MULTI 以外を選択して下さい。

パートミキサーイベントの編集

シーケンサーに記録したパートミキサーイベントは STEP EDIT モードでは以下のように表示されます。

PART: 1 LEVEL:+ 60

イベント名の右側には Part Number フィールド/Event フィールド/Value フィールドが表示されます。

Part Number フィールド —— 1 ~ 128 のパートナンバーを設定します。

Event フィールド —— イベント名 (FX/PAN/LEVEL) が表示されます。

Value フィールド —— イベントの値を設定します。選択したイベントに応じて以下の範囲で値を設定することができます。

FX : -400 ~ +60

PAN : L50 ~ R50

LEVEL : -600 ~ +60

STEP EDIT モード/SEQ EDIT モードの View フィールドに PART MIXER が追加され、パートミキサーイベントだけを表示することができます。右側フィールドで特定のパート/イベントだけを表示することもできます。

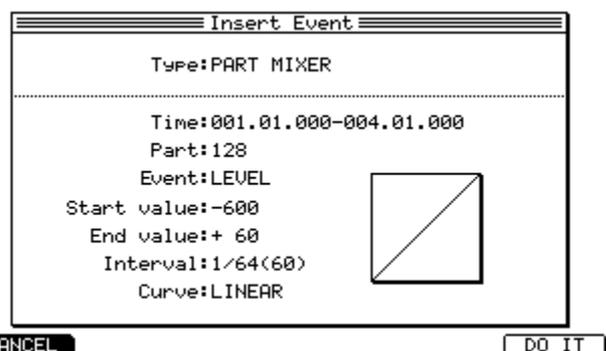
View:PART MIXER :ALL:ALL

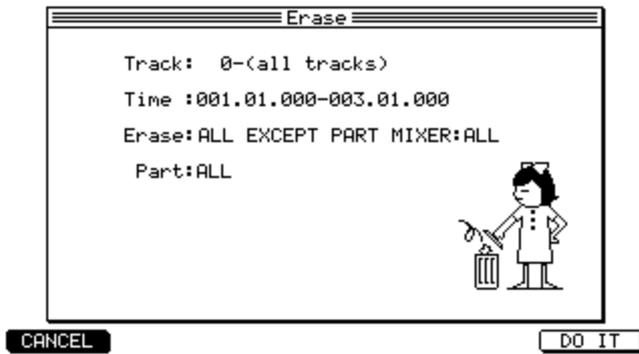
Insert Event ポップアップウィンドウの Type フィールドで PART MIXER を選ぶと、Part フィールドと Event フィールドを設定することができます。

Part フィールド —— 1 ~ 128 のパートナンバーを設定します。

Event フィールド —— 挿入するイベントを LEVEL、PAN、FX から選択します。

Time、Start/End value、Interval、Curve フィールドは他のイベントと同様です。





Erase ポップアップウィンドウの Erase フィールドで ALL EVENT を選ぶと、他のイベントと一緒にパートミキサーイベントが消去されます。ALL EXCEPT で PART MIXER を選ぶと、パートミキサーイベント以外のイベントを消去します。特定のパートのパートミキサーイベント以外を消去することもできます。ONLY ERASE で PART MIXER を選ぶと、パートミキサーイベントだけを消去することができます。特定のパートのパートミキサーイベントだけを消去することもできます。

パッドミキサーイベントの編集

シーケンサーに記録したパッドミキサーイベントは STEP EDIT モードで以下のように表示されます。

PAD 37/A01 LEVEL: +60

イベント名の右隣には Pad Number フィールド/Event フィールド/Value フィールドが表示されます。

Pad Number フィールド — A01 ~ F16 のパッドナンバーを設定します。

Event フィールド — イベント名 (FX/PAN/LEVEL) が表示されます。

Value フィールド — イベントの値を設定します。選択したイベントに応じて以下の範囲で値を設定することができます。

FX	: -400 ~ +60
PAN	: L50 ~ R50
LEVEL	: -600 ~ +60

SEQ EDIT モードでも他のイベントと同様にパッドミキサーイベントを編集することができます。

View フィールドの選択肢に "PAD MIXER" が追加され、パッドミキサーイベントだけを表示させることができます。右隣のフィールドで特定のパッド/イベントだけを表示させることもできます。

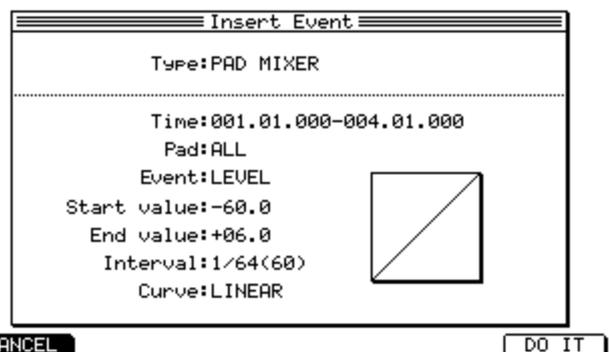
View: PAD MIXER : ALL: ALL

Insert Event ポップアップウィンドウの Type フィールドで PAD MIXER を選ぶと、Pad フィールドと Event フィールドを設定することができます。

Pad フィールド A01 ~ F16 のパッドナンバーを設定します。

Event フィールド 挿入するイベントを LEVEL, PAN, FX から選択します。

Time、Start/End value、Interval、Curve フィールドは他のイベントと同様です。



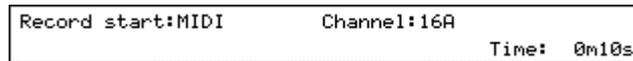
Erase ポップアップウィンドウの Erase フィールドで ALL EVENT を選ぶと、他のイベントと一緒にパッドミキサーイベントが消去されます。ALL EXCEPT で PAD MIXER を選ぶと、パッドミキサーイベント以外のイベントを消去します。特定のパッドのパッドミキサーイベント以外を消去することもできます。ONLY ERASE で PAD MIXER を選ぶと、パッドミキサーイベントだけを消去することができます。特定のパッドのパッドミキサーイベントだけを消去することもできます。

Record start フィールドに MIDI を追加

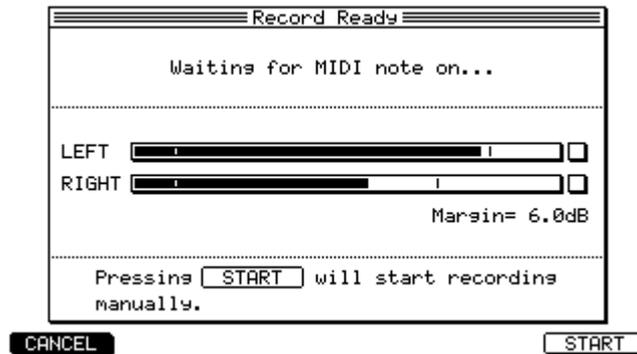
MIDI ノートオンメッセージを受信した時に録音を開始することができるようになりました。

RECORD モードの Record start フィールドの選択肢に MIDI が追加されています。MIDI を選択すると Channel フィールドが表示されます。Channel フィールドでは、どの MIDI チャンネルから MIDI ノートを受信した時に録音を開始するかを設定します。

注意：MIDI ノートを受信して録音を開始するには、MAIN モードの Out1 フィールドもしくは Out2 フィールドで INT-A もしくは INT-B を選択して、MIDI チャンネルを合わせておく必要があります。



MIDI を選択して [F6]RECORD キーを押すと Record Ready ポップアップウィンドウに、"Waiting for MIDI note on..." と表示されます。



MIDI ノートオンメッセージを受信すると録音が始まります。また、[F6]START キーを押して手動で録音を開始したり、[F1]CANCEL キーを押して録音を中止することもできます。

16 LEVELS に TUNING を追加

[16 LEVELS] キーに音程を割り当てて、1つのサンプルに音階を付けて演奏できるようになりました。

[16 LEVELS] キーを押すと Assign 16 Levels ポップアップウィンドウが表示され、Assign フィールドで VELOCITY か TUNING を選択することができます。

Assign 16 Levels ポップアップウィンドウで [F6] キー (TurnON) を押すと、[16 LEVELS] キーの LED が点灯して 16 LEVELS はオンに設定されます。

[16 LEVELS] キーの LED が点灯した状態で再度 16 LEVELS キーを押すと、LED が消灯して 16 LEVELS はオフに設定されます。

Assign 16 Levels ポップアップウィンドウで [F1] キー (CANCEL) を押すと、16 LEVELS はオフに設定され、LED は点灯しません。

Assign フィールド

VELOCITY —— Pad フィールドで選択したサンプルを 16 段階のベロシティで演奏することができます。

TUNING —— Pad フィールドで選択したサンプルを 16 段階の音程で演奏することができます。

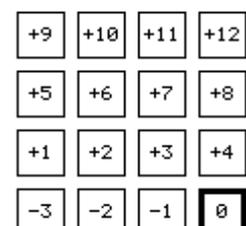
TUNING を選択すると Original key pad フィールドが表示されます。

Original key pad フィールド

選択しているパッドバンクの 04 ~ 13 のパッドを選択することができます。

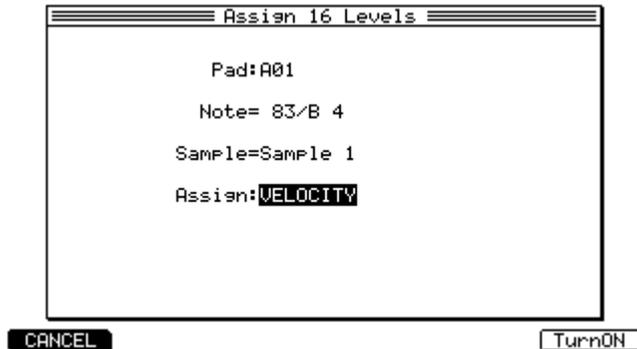
Original key pad に設定されたパッドはプログラムで設定されているオリジナルの音程で演奏され、他のパッドは Original key pad に設定したパッドを基準に半音ごとに音程が設定されます。

Original key pad:04



16 LEVELS の操作 (VELOCITY)

1. [16 LEVELS] キーを押して下さい。Assign 16 Levels ポップアップウィンドウが表示されます。
2. ベロシティを 16 段階で演奏したいサンプルが割り当てられているパッドを叩いて下さい。自動的に叩いたパッドが Pad フィールドで選択されます。
3. Assign フィールドへ移動して VELOCITY を選択して下さい。



4. [F6] キー (TurnOn) を押して下さい。[16 LEVELS] キーの LED が点灯して 16 LEVELS がオンに設定されます。パッドを叩くと選択したサンプルのベロシティが 16 段階で演奏されます。

16 LEVELS の操作 (TUNING)

1. [16 LEVELS] キーを押して下さい。Assign 16 Levels ポップアップウィンドウが表示されます。
2. 音程を 16 段階で演奏したいサンプルが割り当てられているパッドを叩いて下さい。自動的に叩いたパッドが Pad フィールドで選択されます。
3. Assign フィールドへ移動して TUNING を選択して下さい。



4. Original key pad フィールドへ移動してオリジナルの音程で演奏するパッドを選択して下さい。
5. [F6] キー (TurnOn) を押して下さい。[16 LEVELS] キーの LED が点灯して 16 LEVELS がオンに設定されます。パッドを叩くと選択したサンプルの音程が 16 段階で演奏されます。

T (チューン) フィールドの追加

16 LEVELS に追加された TUNING をシーケンスに記録するために、ノートイベントの右隣に T フィールドが追加されました。ノートの音程を半音上げると +10 に、半音下げると -10 に設定されます。

82/A04 D: 170 U:110 T:±120

T フィールド —— -120 ~ +120 (±1 オクターブ) の範囲でノートイベントの音程を設定します。

16 LEVELS を使った場合には音程は半音単位 (±10) に設定されますが、STEP EDIT モードではセント単位 (±1) で編集することができます。